

日本育種学会 第112回講演会プログラム

2007年秋季 山形大学

大会本部 (TEL : 0235-28-2996 期間中のみ)

9月21日	午後	幹事会 14:00-18:00 (会議室 : 1号館2F)					
		第1会場 102番教室	第2会場 103番教室	第3会場 201番教室	第4会場 202番教室	第5会場 301番教室	第6会場 401番教室
	午前	遺伝子・蛋白質 101-112 9:00-12:00	抵抗性 品質成分 201-212 9:00-12:00	品種育成 301-312 9:00-12:00	変異創成 401-412 9:00-12:00	ゲノム解析 501-512 9:00-12:00	遺伝資源 系統分化 601-612 9:00-12:00
9月22日	午後	ポスター (奇数番号) 12:45-13:55 (学生ホール)					
		シンポジウム 14:00-17:00 (102-401番教室)					
		I. 作物の成分育種のこれまでとこれから (第1会場、102番教室)					
		II. 地球環境変動下での食料生産 -育種はどう貢献できるか- (第2会場、103番教室)					
		III. Triticeae Breeding - - ムギ類育種の展望と基礎 (第3会場、201番教室)					
		IV. エチレン -生理機作の解明と育種における研究の現状- (第4会場、202番教室)					
		V. イオンビーム育種 : その特徴と展開 (第5会場、301番教室)					
		臨時総会 17:30-18:00 (東京第一ホテル鶴岡 鳳凰の間)					
		懇親会 18:00-20:00 (東京第一ホテル鶴岡 鶴の間)					
	午前	遺伝子・蛋白質 113-120 9:00-11:00	抵抗性 品質成分 213-220 9:00-11:00	品種育成 313-317 9:00-10:15 発育生理 318-321 10:15-11:15	変異創成 413-420 9:00-11:00	ゲノム解析 513-520 9:00-11:00	遺伝資源 系統分化 613-617 9:00-10:15 発育生理 618-621 10:15-11:15
9月23日	午後	ポスター (偶数番号) 11:15-12:25 (学生ホール)					
		ランチョンセミナー「育種学会における男女総合共同参画をめざして」 12:30-13:30 (103番教室)					
		遺伝子・蛋白質 121-130 13:30-16:00	抵抗性 品質成分 221-230 13:30-16:00	発育生理 322-333 13:30-16:30	変異創成 421-430 13:30-16:00	変異解析 521-533 13:30-16:45	発育生理 622-633 13:30-16:00
		グループ研究集会 16:45-18:45 (103教室)					
9月24日	午後	公開シンポジウム 13:30-17:00 (東京第一ホテル鶴岡 鳳凰の間)					
		「民間育種の原点を山形に見る」 -民間育種の再評価とこれからの民間育種を考える-					
		1. 庄内における稲の民間育種		菅 洋 (東北大学名誉教授)			
		2. 白山ダダチャの誕生とその特性		阿部利徳 (山形大)			
		3. 山形における在来野菜		江頭宏昌 (山形大)			
		4. オウトウ品種、「佐藤錦」の誕生		西村幸一 (山形県農業総合研究センター)			
		5. 庄内バイオ研修センターにおける品種改良の取組み		佐藤晨一 (庄内バイオ研修センター)			
		6. 種苗会社による野菜育種の動向		渡辺颯悦 (株) 渡辺採種場)			
		7. 総合討論 「民間育種の再評価とこれから」					

9月21日 14:00 ↓ 18:00	幹事会 (会議室: 1号館2F)
------------------------------	------------------

1日目(9月22日)午前			
9月22日	第1会場(102教室)	第2会場(103教室)	第3会場(201教室)
	◆座長 加藤謙司 (岡山大学)	◆座長 長谷川博 (滋賀県立大環境科学)	◆座長 坂紀邦 (愛知県農総試山間)
9:00	101 パンコムギbZIP型転写因子WAB15およびWLP19による <i>Cor/Lea</i> 遺伝子発現の活性化 ○小林史典1, 2, 3・寺嶋彰弘3・宅見薫雄3(1. 生物研、2. 日本学術振興会特別研究員、3. 神戸大学院農)	201 ダイズの裂莢性に関する主要な <i>QTLqPDH1</i> に関するRHLの育成とその利用 ○船附秀行1・鈴木雅也2・辻博之1・石本政男1・藤野介延3(1. 北海道農研、2. 北大農、3. 北大農学研究院)	301 水稲いもち病耐病性系統の食味について 岡本和之・眞部徹・平山正賢・○平澤秀雄(茨城県農業総合センター生物工学研究所)
9:15	102 <i>Brassica rapa</i> L. (ハクサイ)における根こぶ病抵抗性遺伝子(<i>Crr3</i>)のマッピングスクローニング ○伊吹隆・平井正志・久保中央(京府大院農)	202 QTL解析で見出されたダイズ耐虫性遺伝子の効果と対立性 ○小松邦彦・高橋将一・中澤芳則(九州沖縄農業研究センター)	302 NERICA品種の遺伝・育種学的特徴付け。 1. NERICA 18品種の染色体構成 福田善通・○小松邦彦・池田良一・神代隆(国際農研セ生物資源領域)
9:30	103 プラシノステロイド非感受性イネ変異体の解析 ○坂本知昭1・松岡信2・北野英己2(1. 名大高等研究院、2. 名大生物機能開発利用研究センター)	203 オオムギ雲形病菌の単一圃場における病原性変異 ○竹内一成・福山利範(新潟大学)	303 テンサイ黒根病抵抗性品種「北海90号」の育成とバイオマス資源としての可能性 ○田口和憲1・高橋由之1・岡崎和之1・深澤昭吾2・斎藤優2・阿部英幸1(1. 北海道農業研究センター、2. 山形県鶴岡市)
9:45	104 <i>EMBRYOMAKER</i> 遺伝子の異所発現は子葉からの不定胚形成を誘導する ○津和本亮・横井修司・高畑義人(岩手大学農学部)	204 イネいもち病抵抗性に関するインド型品種C039の遺伝的背景をもつ準同質遺伝子系統群の染色体構成 ○M. Nguyen1・A. Hairmansis2・M. Yanoria3・小林伸哉1, 3・川崎頭子1・福田善通1(1. 国際農研セ生物資源領域、2. インドネシア稲研究所、3. 国際稲研究所)	304 低日照・メイチュウ多発地帯のミンダナオ島Caraga地方に適したイネ品種の選抜 ○滝田正1(1. 東北農業研究センター、2. フィリピン稲研究所)
	◆座長 平井正志 (京都府農業資源研究センター)	◆座長 福田善通 (国際農林水産業研究センター)	◆座長 石井卓朗 (作物研究所)
10:00	105 イネ低温発芽性遺伝子 <i>qLTG-3-1</i> の単離 ○藤野賢治1・関口博史1・松田康之1・小野和子2・矢野昌裕2(1. ホクレン、2. 生物研)	205 コムギ育成系統の耐湿性評価 ○吉田朋史・辻孝子・藤井潔(愛知農総試)	305 辛味果実の発生しない万願寺トウガラシ新品種「京都万願寺2号」の育成 ○南山泰宏1・稲葉幸司2・古谷規行1(1. 京都農資セ、2. 京都農総研)
10:15	106 イネ低温発芽性遺伝子 <i>qLTG-3-1</i> の機能解析 ○松田康之1・関口博史1・小野和子2・矢野昌裕2・藤野賢治1(1. ホクレン、2. 生物研)	206 イネのリン酸欠乏によって誘導される根伸長3. 精密QTLマッピングと発現遺伝子解析 ○清水頭史1・加藤謙之2・小松亜希子2・長谷川博1・池橋宏2(1. 滋賀県大環境科学、2. 日大院生物資源)	306 いもち病高感度圃場抵抗性を有する水稲新品種「中部111号(系統名)」の育成 ○坂紀邦1・寺島竹彦1・工藤悟2・加藤恭宏2・杉浦和彦2・城田雅毅2(1. 愛知農総試山間、2. 愛知農総試)
10:30	107 イネ栽培品種間に見出された低温発芽性遺伝子 <i>qLTG-3-1</i> 遺伝子の塩基配列多型 ○関口博史1・松田康之1・矢野昌裕2・藤野賢治1(1. ホクレン、2. 生物研)	207 イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 <i>xad8</i> の座乗染色体 ○田浦悟1・河邊弘太郎1・一谷勝之2(1. 鹿児島大学遺伝子実験施設、2. 鹿児島大学農学部)	307 収量性、製粉性および粉の色相が改善されたもち性コムギ新品種「もち姫」の育成 ○平将人1・谷口義則1・伊藤裕之1・前島秀和1・吉川亮2・中村和弘3・八田浩一4・中村洋5・伊藤美環子2・伊藤誠治6(1. 東北農業研究センター、2. 北海道農業研究センター、3. 長野県農事試験場、4. 九州沖縄農業研究センター、5. 作物研究所、6. 中央農業研究センター)
10:45	108 イネ半優性矮性変異体 <i>Sirt1-d</i> の遺伝学解析 ○浅野賢治1, 2・平野恒1・上口(田中)美弥子1・香村敏郎1・佐藤光3・北野英己1・松岡信1・芦荻基行1(1. 名古屋大生物機能開発利用研究センター、2. 日本学術振興会特別研究員DC、3. 九大院農)	208 イネ品種間におけるカドミウム耐性・蓄積能の比較 ○吉原利一・後藤文之・庄子和博(電中研環境科学)	308 ネギ育成品種「湘南一本」における品種標識による形質への影響 ○北浦健生1・河田隆弘1・久保深雪1・塚崎光2・山下謙一郎2・若生忠幸2・北宜裕1(1. 神奈川県農業技術センター、2. 農研機構野菜茶研)

1日目(9月22日)午前

第4会場(202教室)	第5会場(301教室)	第6会場(401教室)	9月22日
<p>◆座長 荻原保成 (横浜市立大木原生研)</p> <p>401 フィテン酸低含有量イネ突然変異の選抜 ○矢頭治・青木秀之(中央農研・北陸研究センター)</p> <p>402 ガンマ線照射により誘発されたイネα-グロブリン欠失突然変異の同定 ○森田竜平1・草場信2・西村実1(1.生物研放育場、2.東大農学生命科学)</p> <p>403 キクの白色花から得られた黄色花突然変異体のキメラ構造とX線照射による白色花への復帰突然変異 ○山田栄成・岩崎勇次郎(静岡県農林技術研究所)</p> <p>404 トランスポゾンを利用したコメのトレーサビリティの確保 ○多田雄一・原洋子2・三上隆司4・金川寛4・前原峰雄4・菊池一浩3(1.東京工大・バイオニクス、2.(株)ジャンプジーン、3.Boyce Thompson Inst. for Plant Res.、4.(株)サタケ)</p>	<p>◆座長 半田裕一 (農業生物資源研究所)</p> <p>501 カンキツ多胚性遺伝子座をカバーする物理地図の構築とハプロタイプ解析 ○中野道治1・清水徳朗2・藤井浩2・島田武彦2・遠藤朋子2・西川美美枝2・根角博久2・國賀武2・J. Ikeda3・大村三男3(1.岐阜大院連合農学研究科、2.農研機構果樹研、3.静岡大学農学部)</p> <p>502 RAPDマーカーを用いたエノキタケの着色因子を含む連鎖地図の作成および電気泳動的核型との関係 ○本田良太・種坂英次・吉田元信(近畿大学農学部農業生産科学)</p> <p>503 QTL解析に基づく野生サクラソウの遺伝的多様性評価 1.連鎖地図作成 ○吉田康子1・上野真義2・北本尚子1・小玉昌孝1・本城正志3・田口由利子2・津村義彦2・永井美穂子4・鷺谷いづみ4・大澤良1(1.筑波大生命環境、2.森林総研、3.東北農試、4.東大農)</p> <p>504 SSRマーカーによるトウガラシ連鎖地図の作成と既存地図との対応 ○三村裕1・南山泰宏1・津呂正人2・景山朋子3・久保崇4・平井正志1,3(1.京都農産セ、2.名城大農、3.京都府大院農、4.専修大北海道短大園芸緑地)</p>	<p>◆座長 秋本正博 (帯広畜産大学)</p> <p>601 ラオス北部在来陸稲黒米品種「ゴヒヤン」のmPingマーカーを用いた多様性分析 ○武藤千秋1・川野和昭2・谷隆俊3・佐藤洋一郎4(1.岐阜大学大学院連合農学研究科、2.鹿児島県歴史資料センター黎明館、3.京都大学、4.総合地球環境学研究所)</p> <p>602 アフリカ栽培イネ<i>O. glaberrima</i>第11染色体長腕における病害抵抗性遺伝子(R-gene)クラスター領域の構造解析 ○片桐敏・唐澤渉・細川聡美・神谷梢・栗田加奈子・菊田有里・備藤毅人・柴田未知恵・濱田昌雄・伊藤幸代・金森裕之・伊川浩司・呉健忠・佐々木卓治・松本隆(生物研/STAFFイネゲノム研究チーム)</p> <p>603 ダイズとツルマメの浸透交雑の可能性に関する調査 2.生育密度に対するダイズとツルマメの環境応答性の差異 ○住谷真理子1・北本尚子1・加賀秋人2・黒田洋輔2・大澤良1(1.筑波大院生命環境、2.生物研)</p> <p>604 ワサビの遺伝資源探索III. 中国雲南省における現地調査報告 ○山根京子1・魯元学2・律娜3・山口裕文1(1.大阪府大生命環境、2.昆明植物園、3.京大院農学)</p>	
<p>◆座長 草場信 (東大院農)</p> <p>405 コムギTILLING系統の作成と利用I. パンコムギChinese Spring TILLING系統の作成と表現形の調査 ○今井雄大1・川浦香奈子1・一色正之1・持田恵一2・那須田周平3・篠崎一雄2・荻原保成1(1.横浜市大・木原生研、2.理研PSC、3.京大院・農学)</p> <p>406 コムギTILLING系統の作成と利用 II. パンコムギTILLING系統における穂の形態変異の解析 ○高久真実・今井雄大・川浦香奈子・一色正之・荻原保成(横浜市立大・木原生研)</p> <p>407 赤毛自殖系統の突然変異から生じた新たな半矮性遺伝資源:葉耳退化型・半矮性変異体(das)の解析 ○石川隆二1・今井克則2・田村優佳1・竹谷敦子1(1.弘大農生、2.岩手連大)</p> <p>408 水耕栽培を用いたフキ培養シュートの簡易で効率的な発根法 ○岩本嗣(大阪府環境農林水産総合研究所)</p>	<p>◆座長 佐藤和広 (岡山大資生研)</p> <p>505 ミヤコグサとのシンテニー解析によるダイズゲノムの特性解明 ○坪倉康隆1・佐藤修正2・恩田隆卓3・夏正俊1・林正紀1・福島有紀恵3・西岡美樹1・田畑哲之2・原田久也1(1.生物研、2.かずさDNA研究所、3.千葉大園芸)</p> <p>506 新規SSRマーカーを含むダイズ統合連鎖地図 ○黄太蔭1・高田吉丈2・高橋将一3・中本有美4・船附秀行4・久野裕5・笹本茂美5・佐藤修正5・田畑哲之5・河野いづみ6・星 雅子7・橋正義7・矢野千鶴7・夏 正俊8・原田久也8・喜多村啓介1・石本政男4(1.北大院農、2.東北農研、3.九農研、4.北農研、5.かずさDNA研究所、6.農林水産先端研、7.千葉大園芸、8.生物研)</p> <p>507 コムギ種子休眠性QTL、<i>qPhs-3AS</i>のF₂集団を用いた大規模マッピング ○石田浩規1・三浦秀穂1・加藤清明1・高尾慎一1・常盤明子1・船引厚志1・徳井真由美1・中村俊樹2・齊藤美香2・席田淳史3・荻原保成4・笹沼恒男4(1.帯広畜大、2.東北農業研究センター、3.ホクレン農総研、4.横浜市大木原生研)</p> <p>508 アブラナ科植物間の連鎖地図の統合 ○諏訪部圭太1,3・C. Morgan1・松元哲2・渡辺正夫3・I. Bancroft1(1.Crop Genetics, John Innes Centre、2.野茶研、3.東北大院生命科学)</p>	<p>◆座長 辻本壽 (鳥取大農)</p> <p>605 <i>Brassica</i>属自家不和合性複合遺伝子座における組換えの検出と塩基配列多型への影響 ○宅野将平1・藤本龍2・杉村哲1・西尾剛1(1.東北大院農、2.遺伝研)</p> <p>606 日本産タケ連植物の遺伝育種学的研究. XXIII. スオウチクとホウショウチクの交配と得られた発芽芽生の表現型 ○村松幹夫(岡山大学名誉教授)</p> <p>607 アンデス産アカザ科穀類「キヌア」の遺伝資源評価IV オレアノール酸含量の品種間変異 ○秋本正博1・金川悦子1・藤倉雄司1・本江昭夫1・A. Mujica2(1.帯広畜産大学、2.アルテラノ大学)</p> <p>608 ハマヒルガオ野生集団におけるアルコール脱水素酵素遺伝子の塩基配列変異 ○大迫敬義・松岡岳人(京府大院農)</p>	

1 日目 (9月22日) 午前			
9月22日	第1会場 (102教室)	第2会場 (103教室)	第3会場 (201教室)
	◆座長 伊藤幸博 (東北大院農)	◆座長 藤井潔 (愛知県農業総合試験場)	◆座長 矢野健太郎 (東大院農)
11:00	109 ソバにおける二花柱型自家不和合性遺伝子および半わい性遺伝子のポジショナルクローニングに向けて ○安井康夫1・森正之2・森真理3・松本大生1・大西近江1・C. Campbell14・大田竜也5(1. 京大農学研究所、2. 石川県立大生物資源工学研究所、3. 滋賀県農業技術振興センター、4. Kade Research Ld、5. 総研大先端科学研究所)	209 イネいもち病真性抵抗性遺伝子 <i>Pit</i> の単離 ○林敬子・吉田均(中央農研・北陸研究センター)	309 北海道で最も粒が大きい白目大豆新品種「中育52号」 ○鴻坂扶美子1・田中義則1・白井和栄2・村田吉平2・三好智明2・高宮泰宏3・萩原誠司2・足立大山4(1. 北海道中央農試、2. 北海道十勝農試、3. 北海道花・野菜技術セ、4. 故人)
11:15	110 イネ属における開花関連遺伝子 <i>Hd3a</i> 領域の構造比較 ○呉健忠・小林春美・山根弘子・伊藤友子・神谷梢・栗田加奈子・菊田有里・備藤毅人・柴田未知恵・濱田昌雄・伊藤幸代・金森裕之・伊川浩司・佐々木卓治・松本隆(生物研/STAFFイネゲノム研究チーム)	210 「初栄」の穂ばらみ耐冷性に関するQTLの検出 ○黒木慎1・斎藤浩二1・松葉修一1・横上晴郁1・清水博之1・安東郁男2・佐藤裕1(1. 北海道農研、2. 作物研)	310 シイタケ交配菌株群の木材腐朽力の変異と菌床栽培特性 ○種坂英次1・中島康雄1・内輪智昭1・池田有理子2・吉田元信1(1. 近大農学部、2. 株式会社 環境総合テクノス)
11:30	111 イネ <i>Hd6</i> のコムギオソローグ <i>TaCK2a</i> 遺伝子の構造決定と配列変異の解析 ○吉田哲也1・西田英隆1・明石由香利1・半田裕一2・加藤鎌司1(1. 岡大農、2. 生物研)	211 水稻の低温土中出芽性に関するQTL解析 ○表野元保・蛭谷武志・山口琢也・舟根政治(富山県農業技術センター)	311 背景マーカー選抜を伴う戻し交配を用いた多遺伝子集積方式 ○米澤勝衛1・石井卓朗2(1. 京産大工、2. 作物研)
11:45	112 コムギにおける劣性春播性遺伝子 <i>vrn-2</i> の構造決定と配列変異の解析 ○久保絵里香・西田英隆・明石由香利・加藤鎌司(岡大農)	212 黄ダイズ品種エンレイの発芽時冠水抵抗性遺伝子 ○広田直子・吉川貴徳・中崎鉄也・佐山貴司・奥本裕・築山拓司・谷坂隆俊(京大院農)	312 半数体倍加法と選抜個体間の交配を用いた循環選抜育種の有用性：マーカー選抜を併用した場合 ○石井卓朗1・米澤勝衛2(1. 作物研、2. 京都産大工)

1 日目 (9月22日) 午後			
12:45	ポスター (奇数番号) 12:45-13:55 (学生ホール)		
14:00	シンポジウムI 「作物の成分育種のこれまでとこれから」 主任：喜多村啓介 (北大)	シンポジウムII 「地球環境変動下での食料生産 —育種はどう貢献できるか—」 主任：加藤鎌司 (岡山大)・佐藤洋一郎 (地球研)	シンポジウムIII 「Triticeae Breeding — ムギ類育種の展望と課題」 主任：河原太八 (京大)・佐藤和広 (岡山大)
17:00	1 イネにおける最近の成分育種の成果と展望 安東郁男 (作物研究所種マーカー育種研究チーム)	1 地球環境学が育種に期待すること 佐藤洋一郎 (総合地球環境学研究所)	1 DNAマーカーを利用したオオムギ育種の展望 佐藤和広 (岡山大学資源生物科学研究所)
	2 DNAマーカー選択によるコムギの品質改良 中村俊樹 (東北農業研究センターめん用小麦研究サブチーム)	2 Rice breeding strategies in the context of global climatic changes Darshan S. Brar (International Rice Research Institute)	2 栽培化関連遺伝子から見たオオムギの遺伝的分化 小松田隆夫 (農業生物資源研究所)
	3 ダイズの成分育種の進展と今後の展望 喜多村啓介 (北海道大学大学院農学研究院応用生命科学)	3 地球環境変動下でのコムギ・トウモロコシ生産：CIMMYTでの育種的取り組み 岩永勝 (国際トウモロコシ小麦改良センター) 坂智広 (横浜市立大学木原生物学研究所)	3 コムギおよびその近縁種の分類と系統進化 河原太八 (京都大学農学研究所)
	4 アミロペクチンの分子構造改変によるイネデンプンの質的改良 中村保典 (秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学)	4 南アジアの半乾燥熱帯地域における熱帯マメ科作物(ヒヨコマメ)の乾燥抵抗性育種の現状と課題 柏木純一 (国際半乾燥地熱帯農業研究所)	4 祖先野生種タルコムギの種内多様性とその育種的利用に向けて 宅見薫雄 (神戸大学農学研究所)
	5 脂質の成分育種とその標的 市原謙一 (京都府立大学大学院農学研究所生物機能化学)	5 Feed the world! —農学者の責任 武田和義 (岡山大学資源生物科学研究所、日本学術会議会員)	5 Triticeae 連の種を利用したコムギ遠縁交雑育種の可能性 辻本壽 (鳥取大学農学部)
17:30	臨時総会 17:30-18:00 (東京第一ホテル鶴岡)		
18:00	懇親会 18:00-20:00 (東京第一ホテル鶴岡)		

1日目(9月22日)午前			
第4会場(202教室)	第5会場(301教室)	第6会場(401教室)	9月22日
<p>◆座長 石川隆二 (弘前大農)</p> <p>409 Seed storage proteins in Triticeae: a novel source of variation for improvement of wheat flour quality ○M. Garg1・田中裕之1,2・辻本壽1,2(1.鳥取大連農、2.鳥取大農)</p> <p>410 <i>Brassica</i> 属種間キメラの人為合成 ○平田豊・肖秋濱・三木香織・古賀慶亮(農工大農学部)</p> <p>411 <i>Brassica juncea</i> × <i>B. napus</i>の雑種の適応度に関する生殖特性 ○津田麻衣1・赤羽美智子2・金子幸雄2・蒲池伸一郎1・小長谷賢一1・田部井豊1(1.農業生物資源研究所、2.宇都宮大農)</p> <p>412 雑種弱勢原因遺伝子<i>Hwci</i>候補ORFの発現と雑種弱勢における根端分裂活性の<i>in situ</i> hybridizationを用いた解析 鈴木主1・一谷勝之2・金森裕之3・松本隆3・渡部信義1・久保山勉1(1.茨大農学部、2.鹿児島大学農学部、3.生物研)</p>	<p>◆座長 森川利信 (大阪府大院生命環境科学)</p> <p>509 栽培イネの第3染色体の雄性配偶体型生殖的隔離障壁と相互作用する第6染色体の雌性親遺伝子のポジショナルクローニング ○春島嘉章1,3・倉田のり1,2(1.遺伝研植物、2.総研大、3.情報・システム研究機構新領域融合研究センター)</p> <p>510 メロンつる割病菌レース2に対する抵抗性遺伝子のマッピング ○手塚孝弘1・和氣慶介1・八城和敏2・葛谷真輝2・石川友子1・高津康正3・宮城慎1(1.茨城農総生工研、2.茨城農総セ筑西地域農改普セ、3.茨城県立農業大学校)</p> <p>511 ポジショナルクローニングにむけたダイズ開花期関連遺伝子座<i>FT1</i>の精密マッピング 夏正俊1・渡辺啓史2・原田久也1(1.生物研、2.北大院農)</p> <p>512 イネの新規基本栄養生長性遺伝子座<i>Efx</i>および<i>Ef2</i>のマッピング ○齊藤大樹1・奥本裕1・M. Kama11・袁清波1・土井一行2・吉村淳2・谷坂隆俊1(1.京大院農、2.九大院農)</p>	<p>◆座長 矢頭治 (中央農業総合研究センター)</p> <p>609 アブラナ科植物におけるPCR法で検出される特異的葉緑体ゲノム構造を用いた比較分類 ○服部玄1・奥西麗2・中川美緒2・平田豊2(1.農工大・院・連大・植物遺伝育種、2.農工大・院・国際環境農学・植物遺伝育種)</p> <p>610 後代検定によるアマランサス (<i>Amaranthus caudatus</i>) 種子貯蔵デンプン変異系統の遺伝子型の推定 ○松下岳1・根本和洋1・南峰夫1・松島憲一1・勝田真澄2(1.信州大学大学院農学部、2.作物研)</p> <p>611 FISH分析によるフツソソバおよび近縁種染色体の識別同定 ○菊池真司1・松井勝弘2・田中裕之3・辻本壽3(1.鳥取大産学・地域連携推進機構、2.九州農研セ、3.鳥取大農)</p> <p>612 核遺伝子を用いた栽培ダイコンとその近縁野生種の多様性と系統関係について ○律娜・大西近江(京大院農学)</p>	<p>11:00</p> <p>11:15</p> <p>11:30</p> <p>11:45</p>

1日目(9月22日)午後			
ポスター(奇数番号) 12:45-13:55 (学生ホール)			12:45
<p>シンポジウムIV 「エチレン—その生理機作と育種における研究の現状—」 主任:原田竹雄(弘前大)・江面浩(筑波大)</p> <p>1 ET01ファミリータンパク質によるACC合成酵素の転写後制御機構 吉田均(中央農研・北陸)</p> <p>2 エチレン受容体の細胞内局在とサブファミリー分化 江面浩(筑波大院生命環境科学)</p> <p>3 エチレンジグナル伝達経路を制御する因子の探索研究 高木優(産業技術総合研究所)</p> <p>4 リンゴ品種「ふじ」の高日持ち性とエチレンとの関係 原田竹雄(弘前大学農学生命科学部)</p> <p>5 ニホンナシ成熟果実におけるエチレン生成の分子機構 板井章浩(鳥取大学農学部)</p> <p>6 エチレン関連遺伝子を導入した遺伝子組換え花きの作出と性質 佐藤茂(京都府大農学研究科)</p>	<p>シンポジウムV 「イオンビーム育種:その特徴と展開」 主任:井上雅好(京都府大)</p> <p>はじめに 井上雅好(京都府立大学)</p> <p>1 イオンビーム育種の特徴 田中淳(日本原子力研究開発機構)</p> <p>2 イオンビーム育種の最近の成果と今後の展開 阿部知子(理化学研究所)</p> <p>3 突然変異育種におけるイオンビーム利用の意義 森下敏和(農業生物資源研究所)</p> <p>4 無側枝性輪ギク品種の創成におけるイオンビーム照射の特徴 上野敬一郎(鹿児島県バイオテクノロジー研究所)</p> <p>5 遺伝子組換えとイオンビーム照射の組合せによる効率的な新形質トレニアの作出 大坪憲弘(農業・食品産業技術総合研究機構 花き研究所)</p> <p>6 イオンビーム誘発変異体の遺伝子解析から見える新しい植物機能 長谷純宏(日本原子力研究開発機構)</p>		<p>14:00</p> <p>↓</p> <p>17:00</p>
臨時総会 17:30-18:00 (東京第一ホテル鶴岡)			17:30
懇親会 18:00-20:00 (東京第一ホテル鶴岡)			18:00

2日目(9月23日)午前

9月23日	第1会場(102教室)	第2会場(103教室)	第3会場(201教室)
9:00	◆座長 長村吉晃 (農業生物資源研究所) 113 コムギ及びエギロブス属植物のミトコンドリアorf260遺伝子の分子解析 ○堀川明彦・谷口和也・中西健太・上村達也・寺地徹(京産大工)	◆座長 笹沼恒男 (横浜市立大木原生研) 213 コムギ赤かび病抵抗性および赤かび毒素低蓄積性研究のための簡易バイオアッセイ法の検討 ○坂智広1,2・村上二朗1・江草真由美3・児玉基一郎3(1.国際トウモロコシ小麦改良センター、2.横浜市立大学木原生物学研究所、3.鳥取大学農)	◆座長 坪倉康隆 (農業生物資源研究所) 313 矮性トマト品種マイクロトムの完全長cDNA配列解析とデータベースKaFTom ○矢野健太郎1・青木考2・須田邦裕2・鈴木達哉2・櫻井望2・成田貴則3・新井理3・小原雄治3・江面浩4・柴田大輔2(1.東大農学生命科学・アグリバイオ、2.かずさDNA研、3.国立遺伝研・生物遺伝資源情報、4.筑波大・遺伝子実験センター)
9:15	114 イネ高温登熟における登熟代謝関連遺伝子のマイクロアレイ等を用いた網羅的発現解析 ○山川博幹・廣瀬竜郎・黒田昌治・山口武志(農研機構中央農研)	214 バンコムギにおける第1同祖群染色体の欠失が生地強度におよぼす効果 ○田中裕之・辻本壽(鳥取大農)	314 イネ穂発芽耐性QTL、 <i>Sdr4</i> の単離 ○杉本和彦1・竹内善信2・小林正智3・廣近洋彦1・矢野昌裕1(1.農業生物資源研究所、2.作物研究所、3.理化学研究所バイオリソースセンター)
9:30	115 オオムギFT-like遺伝子 <i>HvFT2</i> の機能解析 ○菊地理絵・川東広幸・半田裕一(農業生物資源研究所)	215 イネ種子のホスホリパーゼDが欠失した変異体の遺伝解析 ○鈴木保宏・竹内善信・白澤健太(独)作物研究所)	315 花の色模様の客観的定量化と人による主観的認識との関係 ○岩田洋佳1・吉岡洋輔2・長谷暢一3・松浦誠司3・大森宏4(1.中央農研、2.野茶研、3.(株)トーホク、4.東大農学生命科学)
9:45	116 イネのメリステム維持に関わる遺伝子に生じた変異の分布とその考察 ○大根田真子・寿崎拓哉・平野博之(東京大学大学院理学系研究科)	216 コムギ農林61号Wxタンパク質準同質遺伝子系統の草丈と小麦粉特性の変異 羽田崇伸1・〇三浦 秀穂1・田引正2・西尾善太2・伊藤美環子2・谷尾昌彦2(1.帯広畜産大学、2.北農研センター)	316 レイホウ×山田錦由来半数体倍加系統の心白標準画像を用いた粒内部位類似度解析 ○長澤章道・高原美規(長岡技工大)
10:00	◆座長 吉田薫 (東大院農) 117 マングロープ植物の塩・浸透圧ストレス応答遺伝子の発現解析と機能解析 ○深山真史1,2・山中拓哉2・江澤祥太2・多田雄一2(1.産総研・バイオニクス、2.東京工科大・バイオニクス)	◆座長 西村実 (農業生物資源研究所) 217 コムギの製粉性の遺伝的改良に関する研究 I. 種子の微細構造との関連 ○池田達哉1・高田兼則1・谷中美貴子1・吉村康弘2(1.近中四農研、2.北農農試)	317 連続画像データによるダイズ草姿形成様式の定量的評価 ○皆川晋1・吉岡洋輔2・岩田洋佳3・二宮正士3・大澤良1(1.筑波大院生命環境、2.野茶研、3.中央農研)
10:15	118 <i>DROOPING LEAF (DL)</i> 遺伝子の弱い表現型を示す対立遺伝子の起源と発現制御に関する研究 ○大森良弘1・堀端章2・平野博之1(1.東大院理、2.近大生物理工)	218 コムギ成熟後の降雨による容積重低下の品種間差異とその要因 ○藤井潔1・辻孝子1・吉田朋史1・池田達哉2(1.愛知農総試、2.農研機構近中四農研)	◆座長 村井耕二 (福井県立大生物資源) 318 <i>KNOX</i> 遺伝子を葉で異所的に発現するイネ突然変異体の解析1 ○津田勝利1・伊藤幸博2・宮尾安藝雄3・廣近洋彦3・倉田のり1(1.総合研究大学院大学 生命科学研究所 遺伝学専攻 国立遺伝学研究所 植物遺伝研究室、2.東北大学大学院 農学研究科 環境適応生物工学研究室、3.農業生物資源研究所 分子遺伝研究グループ)
10:30	119 バンコムギにおける <i>AP2</i> 様遺伝子の発現機構の解析 ○川浦香奈子・一色正之・荻原保成(横浜市立大木原生研)	219 水稲品種「あゆのひかり」の糖含量および特異的タンパク質 ○S. Kamara・N. Nayar・阿部利徳(山形大農)	319 <i>KNOX</i> 遺伝子を葉で異所的に発現するイネ突然変異体の解析2 ○伊藤幸博1・津田勝利2,3・永口貢2・倉田のり2,3(1.東北大農、2.遺伝研、3.総研大生命科学)
10:45	120 Virus-induced gene silencingを利用したダイズフラボノイド生合成の改変 ○永松敦1・増田税1・千田峰生2・松浦英幸1・葛西厚史2・洪鎮成1・喜多村啓介1・阿部純1・金澤章1(1.北大院農、2.弘大農学生命)	220 茎葉にアントシアニンを蓄積しないソバ系統の遺伝解析とルチンおよびプロアントシアニジン蓄積に与える影響 ○松井勝弘・江口研太郎・手塚隆久(農研機構九沖農研)	320 細胞分裂の異常を伴うイネ胚発生突然変異体の解析 ○伊澤康太郎1・佐藤豊1・北野英己2(1.名大院生命農学、2.名大生物機能開発利用研究センター)
11:00			321 イネ <i>DCL1</i> が変異した棍棒胚突然変異体 <i>club-shaped embryo1</i> の解析 ○今村謙平1・松岡信2・北野英己2・佐塚隆志2(1.名大院生命農学、2.名大生物機能)
11:15	ポスター(偶数番号) 11:15-12:25 (学生ホール)		
12:30	ランチョンセミナー 「育種学会における男女総合共同参画をめざして vol.1 女性研究者をとりまく環境」 12:30-13:30 (103教室)		

2日目(9月23日)午前

第4会場(202教室)	第5会場(301教室)	第6会場(401教室)	9月23日
<p>◆座長 加藤淳太郎 (愛知教育大生物)</p> <p>413 <i>Brassica rapa</i> × <i>Diplotaxis tenuifolia</i> からの複二倍体系統の育成と細胞遺伝学的特性 ○鄭凡喜1・嵯峨賢純1・岡安浩次2・服部玄2・房相佑1・金子幸雄1・松澤康男1(1.宇都宮大農、2.農工大・院・連大)</p> <p>414 在来ナタネ類×セイヨウナタネから得られた後代植物の染色体対合とRAPD特異マーカーの解析 ○赤羽美智子1・金子幸雄1・鄭凡喜1・津田麻衣2・房相佑1・田部井豊2・松澤康雄1(1.宇都宮大農、2.生物研)</p> <p>415 <i>O. Longistaminata</i>由来交雑後代と自立性トランスポゾン有するpyl-vとの交雑F₁におけるpyl-v型の過少分離 ○西村秀希1・A. Nisar1・梶根一夫2・飯田滋2・前川雅彦1(1.岡大資生研、2.基生研)</p> <p>416 ブルーベリー種間キメラの合成とその安定性 ○浅野頼子1・宮下千枝子2・石川駿二3・三位正洋4・平田豊1(1.農工大・院・国際、2.東京都農林総合研究センター、3.農工大・農・FS、4.千葉大・園芸)</p>	<p>◆座長 北野英己 (名大生物機能開発利用研究セ)</p> <p>513 ダイズ代謝関連酵素遺伝子の単離と分子連鎖地図上への位置づけ 黄太暎1・中本有美2・高田吉丈3・高橋将一4・河野いづみ5・山形晴美5・水林達実5・金森裕之5・佐藤修正6・田畑哲之6・山田哲也1・喜多村啓介1・石本政男2(1.北大院農学、2.北農研、3.東北農研、4.丸農研、5.農林水産先端研、6.かずさDNA研究所)</p> <p>514 イネ晩生突然変異系統HS276がもつ新規出穂期遺伝子 <i>ef7</i> の同定 ○袁清波1・齊藤大樹1・奥本裕1・浅見武人1・井上博茂1・西田英隆2・谷坂隆俊1(1.京大院農、2.岡大農)</p> <p>515 バレイシヨ品種「さやあかね」の持つジャガイモ疫病抵抗性遺伝子のPCR-RFLP分析 ○大林憲吾・中田奈津子・茶谷正孝(長崎総農林試)</p> <p>516 Production of doubled haploid lines as mapping population for grain quality traits in rice. ○V. Lapitan1,3・E. Redona2・D. Brar2・阿部利徳3(1. Philippine Rice Research Institute、2. International Rice Research Institute、3. 山形大農)</p>	<p>◆座長 勝田真澄 (作物研究所)</p> <p>613 我が国の酒米品種群における集団構造解析 ○吉田晋弥1・山崎将紀2・池上勝1・上島脩志2(1.兵庫農大技総セ、2.神戸大院農)</p> <p>614 栽培オオムギの分子系統地理学的解析 ○最相大輔1,2・石井誠1・武田和義1・K. Olsen3・P. Morrell4・M. Purugganan2(1.岡大資生研、2. New York University、3. Washington University、4. University of California, Irvine)</p> <p>615 Cytological and genetical studies in pearl millet, <i>Pennisetum glaucum</i>, and its wild relatives ○H. Elamein1・田中裕之1,2・A. Ali3・M. Garg1・菊池真司4・辻本壽1,2(1.鳥取大連農、2.鳥取大農、3.スーダン農業研究技術普及法人、4.鳥取大産学・地域連携推進機構)</p> <p>616 モロッコ産未同定の <i>Aegilops</i> 属四倍体における細胞遺伝学的分化と地理的分布。II. 地域内および地域間F₁雑種の稔性 寺口裕子・○大田正次(福井県大生物資源)</p>	9:00
<p>◆座長 山田哲也 (北海道大院農)</p> <p>417 コムギ×トウジンビエ交雑における染色体脱落過程の細胞遺伝学的研究 ○上田登史恵1・菊池真司2・H. Elamein3・田中裕之1・辻本壽1(1.鳥取大農、2.鳥取大産学・地域連携推進機構、3.鳥取大連農)</p> <p>418 ダイズわい化ウイルス外被タンパク質を導入したダイズ形質転換体の抵抗性について ○藤郷誠1・山岸紀子2・古谷規行3・静川幸明3・高畑義人2・日高操1(1.東北農研セ、2.岩手大農、3.京都農研セ)</p> <p>419 ダイズモザイクウイルスの外被タンパク質遺伝子を発現する組換えダイズのモザイク病抵抗性育種への利用 ○古谷規行1・山岸紀子2・日高操2・小坂能尚1(1.京都府農業資源研究センター、2.東北農業研究センター)</p> <p>420 イノシトールリン酸関連酵素の過剰発現によるフィチン酸合成の活性化 ○宮本正薫・桑野美緒・吉田薫(東大農学生命科学)</p>	<p>◆座長 石本政男 (北海道農業研究センター)</p> <p>517 mPing SCARマーカーはジャポニカイネ品種間の分子マーカーとして極めて有効である ○門田有希1・内藤健1,2・齊藤大樹1・大木信彦1・出田取3・中崎鉄也1・築山拓司1・奥本裕1・谷坂隆俊1(1.京大院農、2.ジョージア大学植物科学部、3.近畿中国四国農業研究センター)</p> <p>518 mPing SCARマーカーを利用したイネ出穂期遺伝子座 <i>E2</i> の同定 齊藤大樹1・門田有希1・○奥本裕1・内藤健2・大木信彦1・袁清波1・出田取3・谷坂隆俊1(1.京大院農、2.ジョージア大学、3.近中四農研)</p> <p>519 2倍性バレイシヨの自殖および雑種化におけるDNAメチル化の動態 ○中村直・保坂和良(神戸大食資源センター)</p> <p>520 コムギ染色体欠失系統を識別できるPLUGマーカーセット ○石川吾郎1・遠藤隆2・齊藤美香1・中村俊樹1(1.東北農研、2.京大院農)</p>	<p>◆座長 吉田均 (中央農業総合研究センター)</p> <p>617 SSRマーカーを利用したラッカセイ栽培種 (<i>Arachis hypogaea</i> L.) の系統解析 ○内藤嘉磯1,2・鈴木茂3・岩田義治4・久保山勉1(1.茨大農、2.三菱化学メディエンス株式会社食品検査センター、3.千葉県農業総合研究センター、4.千葉県農業大学校)</p> <p>◆座長 吉田均 (中央農業総合研究センター)</p> <p>618 テンサイ <i>Rf1</i> の近縁植物におけるカウンターパート遺伝子の構造 ○亀井陽子・久保友彦・三上哲夫(北海道大・院・農)</p> <p>619 稔性回復遺伝子を持つハマダイコンにおける <i>orf687</i> の Genotyping ○松本欣剛・安本景太・山岸博(京都産大工学)</p> <p>620 野生ダイコンにおける未知の稔性回復遺伝子の遺伝様式および稔性回復機構 ○安本景太・富岡関子・松本欣剛・寺地徹・山岸博(京都産大工学)</p> <p>621 ダイコン属野生種におけるオグラ型細胞質に対する稔性回復遺伝子の分布および変異 ○山岸博・安本景太・松本欣剛・西川由美(京都産大工学)</p>	10:00
			10:15
			10:30
			10:45
			11:00
			11:15
			12:30
<p>ポスター (偶数番号) 11:15-12:25 (学生ホール)</p>			
<p>ランチョンセミナー 「育種学会における男女総合共同参画をめざして vol.1 女性研究者をとりまく環境」 12:30-13:30 (103教室)</p>			

2日目(9月23日)午後

9月23日	第1会場(102教室)	第2会場(103教室)	第3会場(201教室)
	◆座長 横井修司 (岩手大農)	◆座長 穴井豊昭 (佐賀大農)	◆座長 鳥山欽哉 (東北大院農)
13:30	121 コムギのABI5結合蛋白質 (AFP) 様遺伝子の染色体座位置と発現解析 ○大西成人・野田和彦(岡大大学資生研)	221 イオンビームおよびガンマ線照射によるイネ種子蛋白質組成突然変異体の効率的選抜方法 ○西村実1・森田竜平1・草場信2・山口博康3・長谷純宏4(1.農業生物資源研究所放射線育種場、2.東京大学農学生命科学、3.農研機構花き研究所、4.原子力機構・量子ビーム応用研究部門)	322 ホウレンソウの間性形質に関する遺伝解析 与那覇至・中谷美乃・○小野寺康之・三上哲夫(北大農学応用生命科学)
13:45	122 FOX Hunting Systemを用いたイネ遺伝子の包括的機能解析と生育促進を示したFOXイネ系統の解析 ○羽方誠1・中村英光1・土岐尚子1・梶川真理子1・天野晃1・岡田恵子1・市川尚弥2・関原明2・篠崎一雄2・松井南2・田切明美1・川越靖1・土岐精一1・宮尾安藝雄1・長村吉晃1・市川裕章1・廣近洋彦1(1.生物研、2.理研)	222 イネ新規グルテリン遺伝子 <i>GluD-1</i> の同定および解析 ○川勝泰二・廣瀬咲子・山本将之・矢野昌裕・高岩文雄(生物研)	323 コムギの種子休眠性低下変異体におけるABA信号伝達関連遺伝子の発現解析 ○カ石和英1・小林史典2・宅見薫雄2・前川雅彦1(1.岡山大学資生研、2.神戸大学大学院農学研究科)
14:00	123 ペニバナカスミソウの花におけるイソアミルアルコール生合成系の遺伝子発現解析 ○亀田絵美・清水顕史・長谷川博(滋賀県立大学大学院環境科学研究科)	223 キウイアレルゲンおよびそのエピトープの同定と含有量の品種間差異の解析 ○南里智洋1・杉山さとみ1・秋山知子1・荒川憲昭1・川崎博史1・板垣康治2・平野久1(1.横浜市立大学大学院国際総合科学、2.神奈川県衛生研究所)	324 コムギ種子休眠性と植物ホルモン関連遺伝子の温度依存的発現 小林大佑・高瀬友也・本多史明・○川上直人(明大農)
14:15	124 イネユビキチン様タンパク質遺伝子 <i>Rum1</i> の機能喪失はトランスポゾンの転移活性を高める ○田村佳奈子1・築山拓司1・奥本裕1・堀端章2・稲垣晴香1・中崎鉄也1・谷坂隆俊1(1.京大農、2.近代生物理工)	224 豆乳中のペクチン含量が豆腐加工に及ぼす影響 ○河野雄飛・高田吉丈・加藤信・湯本節三(東北農研)	325 イネ雑種花粉で作用する生殖的隔離障壁遺伝子のポジショナルクローニング ○水多陽子1,2・春島嘉章2・倉田のり1,2(1.総合研究大学院大学 生命科学研究所 遺伝学専攻、2.国立遺伝学研究所)
	◆座長 木藤新一郎 (岩手大農)	◆座長 平野久 (横浜市大院国際総合科学)	◆座長 川上直人 (明治大農)
14:30	125 コムギクラスB MADS-box遺伝子 <i>WAP3</i> の同祖遺伝子解析から見出された転写バリエーション ○漆川直希1・宅見薫雄2・川浦香奈子3・萩原保成3・村井耕二1(1.福井県大生物資源、2.神戸大農、3.横浜市大木原生研)	225 ツルマメにおける高ルテイン形質の遺伝解析および成分的特性 ○金丸 京平・王紹東・劉宝輝・阿部純・山田哲也・喜多村啓介(北大院農)	326 二粒系コムギとタルホコムギの種間雑種で生じるネクロシス個体の発現解析 ○水野信之・細木直樹・朴杓允・宅見薫雄(神戸大院農学研究科)
14:45	126 タバコの根における鉄吸収遺伝子の発現は長距離シグナルによって正に制御される ○榎本裕介1,2・程島裕貴1,2・島田浩章1・庄子和博2・吉原利一2・後藤文之2(1.東京理科大生物工学、2.電中研環境科学)	226 ダイズの脂質含量とリノレン酸含有率との関係 ○柴田雅之1・高山清彦2・劉宝輝2・山田哲也2・阿部純2・喜多村啓介2(1.北大農、2.北大院農)	327 Bsister MADSボックス遺伝子は細胞質置換コムギ系統の雌雄不化した雄株における胚珠様構造の形成に関与する 皿池辰徳1・漆川直希1・宅見薫雄2・○村井耕二1(1.福井県大生物資源、2.神戸大院農)
15:00	127 Affymetrix Rice Genome Arrayを用いたSFP検出手法の開発 ○堀内陽子1,2・藤澤洋徳3・川喜田雅則4・望月孝子1・春島嘉章1,2・坂口隆之3・倉田のり1,5(1.国立遺伝学研究所、2.新領域融合研究センター、3.統計数理研究所、4.九州大学大学院システム情報科学、5.総研大)	227 ダイズ種子のα-トコフェロール含有量に関するQTL解析 ○M. Dwiyanti・山田哲也・阿部純・喜多村啓介(北大院農)	328 アブラナ科植物にみられる一側性不適合性の遺伝学的解析 ○佐藤陽洋1・高田美信1・鈴木剛2・柴博史3・高山誠司3・磯貝彰3・渡辺正夫1,4(1.東北大院生命、2.大阪教育大、3.奈良先端大バイオ、4.岩手大COE)
15:15	128 イネゲノム情報を利用した44Kイネオリゴマイクロアレイの作成 ○長村吉晃・菊池尚志・本山立子・バルタザールアントニオ・矢野昌裕(生物研)	228 高α-トコフェロール (Toc) ダイズ品種と普通品種におけるToc生合成関連遺伝子の発現解析 ○矢村悠花・M. Dwiyanti・山田哲也・喜多村啓介(北大院農)	329 花粉粘性に関わるニコチンアミド補酵素生合成 ○橋田慎之介1・高原健太郎1・高橋秀行2・川合真紀1・内宮博文1,2(1.東大分生研、2.岩手生工研)

2日目(9月23日)午後

第4会場(202教室)	第5会場(301教室)	第6会場(401教室)	9月23日
<p>◆座長 高岩文雄 (農業生物資源研究所)</p> <p>421 アブラナ科ねこぶ病抵抗性系統の作出を目的とした昆虫抗菌性ペプチド遺伝子のプロコクローへの導入 ○小長谷賢一・安藤杉尋・蒲池伸一郎・津田麻衣・田部井豊(生物研)</p> <p>422 トルコギキョウにおける新規有用形質付与を旨指したCRISPR-T法の利用 ○齋藤久美1・五十鈴川寛司1,2・遠藤玲子1・高木優3・西村幸一(1.山形農総研セ農生技研、2.山形県庁、3.産総研)</p> <p>423 培養中に花芽を形成する日本ダイズ品種‘カリユタカ’を用いたアグロバクテリウム法による形質転換体の作出 ○佐藤洋1・山田哲也1・喜多洋一1・石本政男2・喜多村啓介1(1.北海道大学大学院農学院、2.北海道農業研究センター)</p> <p>424 緑色カルスを用いたイネ葉緑体への遺伝子導入系の開発 ○蒲池伸一郎・小長谷賢一・安藤杉尋・市川裕章・中村英光・羽方誠・廣近洋彦・津田麻衣・萩尾高志・田部井豊(生物研)</p>	<p>◆座長 三浦秀穂 (帯広畜産大学)</p> <p>521 イネにおける<i>db1</i>(t)(2重外穎)と<i>dp1</i>(内穎発育不全-1)の対立性検定 ○高牟禮逸朗・千葉あや乃・長野宏則・佐野芳雄(北大院農)</p> <p>522 講演取り消し</p> <p>523 コムギ近縁野生種<i>Aegilops umbellulata</i>における春化要求性と<i>Vrn</i>遺伝子との関係 ○笹沼恒男1・田村忠彦1・河原太八2(1.横浜市大木原生研、2.京大院農学)</p> <p>524 講演取り消し</p>	<p>◆座長 久保友彦 (北海道大院農)</p> <p>622 ナタネにおける<i>cms</i>原因遺伝子<i>orf125</i>のコピー数の変動と稔性回復遺伝子<i>Fr</i>の遺伝様式 ○大嶋雅夫1・肥塚信也1・半田裕一2・今村順1(1.玉川大農、2.農業生物資源研)</p> <p>623 サツマイモ野生種のSハプロタイプ間におけるゲノム配列多型性と優劣性関係 ○神山康夫1・M. Rahman1・高北英治1・谷口理1・掛田克行1・土屋亨2(1.三重大生物資源、2.三重大生命研セ)</p> <p>624 <i>Brassica rapa</i>系統 C451における自家和合性原因の解析 ○伊藤進・北柴大泰・西尾剛(東北大院農)</p> <p>625 イネ閉花受粉性突然変異体の分子機構の解析 ○吉田均1・伊藤純一2・大森伸之介1・三好一丸2・堀米綾子2・内田英史1・木水真由美1・松村葉子1・草場信2・佐藤光3・長戸康郎2(1.中央農研・北陸、2.東大院農学生命科学、3.九大院農)</p>	
<p>◆座長 田部井豊 (農業生物資源研究所)</p> <p>425 ダイズのフェリチン全長cDNAを葉緑体で強発現するタバコの遺伝子発現の変化と新たなフェリチン組換え体の作出 ○大野香織1・郭長虹2・寺地徹1(1.京産大工、2.ハルビン師範大学)</p> <p>426 葉緑体の遺伝子組換えタバコによる有用タンパク質の大量生産の試み 1. ヒルジン ○橋本絢子1・野添幹雄1・郭長虹2・大迫敬義3・尾崎昭子1・黒坂光1・山岸博1・寺地徹1(1.京産大工、2.ハルビン師範大学、3.京府大農)</p> <p>427 グルタチオンレダクターゼを大量発現する葉緑体形質転換タバコの作出 ○野添幹雄・須口麻美・林清音・寺地徹(京産大工)</p> <p>428 モノデヒドロアスコルビン酸還元酵素(MDAR)遺伝子を葉緑体ゲノムに持つ遺伝子組換えタバコの特徴づけ ○林清音1・佐野智2・寺地徹1(1.京産大工、2.京都府大院農)</p>	<p>◆座長 高牟禮逸朗 (北海道大院農)</p> <p>525 登熟期の高温条件下における背白米発生に関与するQTLの集積効果 ○田畑美奈子1,2・奥野員敏2(1.茨城県農業総合センター、2.筑波大院生命環境)</p> <p>526 イネ第9染色体上に見出された深根性に関与するQTL ○宇賀優作1・奥野員敏2・矢野昌裕1(1.農業生物資源研究所、2.筑波大学)</p> <p>527 ツルアズキ(<i>Vigna umbellata</i>)の栽培化関連形質に関するQTL解析 ○伊勢村武久・加賀秋人・友岡憲彦・D. Vaughan(生物研)</p> <p>528 穂ばらみ期耐冷性極強イネ系統のQTLs解析 ○森正彦1・吉村徹2・品田博史2・佐藤毅2・加藤清明1・三浦秀穂1(1.帯広畜産大学、2.北海道立上川農業試験場)</p>	<p>◆座長 西尾剛 (東北大院農)</p> <p>626 形質転換イネを用いた<i>OsMADS13</i>遺伝子の機能解析 ○木水真由美・吉田均(中央農研北陸研究センター)</p> <p>627 コムギ花成における<i>WAP1/VRN1-WFT-VRN2</i>トライアングルモデル ○鈴木隆之1・北川哲1・阿部知子2・半田裕一3・村井耕二1(1.福井県大生物資源、2.理研仁科センター、3.農業生物資源研)</p> <p>628 イネにおける肥料反応性に関するQTL解析 ○丸岡正道・市川直史・堀内優貴・大西一光・佐野芳雄(北大院農)</p> <p>629 イネの非脱粒化に寄与した二つのQTLに見られる異なる系譜 ○田中匠・高木恭子・紺谷学・大西一光・佐野芳雄(北大院農)</p>	

2日目(9月23日)午後

9月23日	第1会場(102教室)	第2会場(103教室)	第3会場(201教室)
15:30	◆座長 久保中央 (京都府立大院農) 129 イネスターチンターゼ(SS1)のインビトロ機能解析 ○藤田直子・後藤真司・吉田真由美・鈴木英治・中村保典(秋田県大生物資源)	◆座長 河野雄飛 (東北農業研究センター) 229 日本産在来品種中に見出された高オレイン酸ダイズ遺伝資源の解析 ○穴井豊昭・小栗康臣(佐賀大学農学部)	◆座長 土屋亨 (三重大生命研セ) 330 イネ細胞質雄性不稔性に関連するプロテインキナーゼOsNek3の解析 ○藤井壮太1・板橋悦子1・J. Park2・渡辺正夫2,3・鳥山欽哉1(1.東北大院農, 2.東北大院生命, 3.岩手大21世紀COE)
15:45	130 ウイルス誘導ジーンサイレンシング(VIGS)法を利用したオオムギタンパク質P23kの機能解析 ○木藤新一郎・及川愛・植村亜衣子(岩大農)	230 NMR代謝プロファイリングによる穀物形質評価(2)主要代謝産物バランスの比較 ○持田恵一1・古田拓2・篠崎一雄1・荻原保成3・菊地淳1,4(1.理研PSC, 2.横浜市大院国際総合, 3.横浜市大木原生研, 4.名大院生命農)	331 イネBT型CMSにおける核因子 <i>Ifr1</i> による不安定な稔性回復とミトコンドリアRNAプロセシングの関連性 ○太田宇香・長野宏則・金澤章・佐野芳雄(北大農院)
16:00			332 テンサイミトコンドリアゲノム分化に関与するゲノム再編成の機構 西澤さつき・三上哲夫・久保友彦(北大院農学研究院)
16:15			333 テンサイOwen型細胞質雄性不稔に伴って発現が上昇する核遺伝子のスクリーニング ○松平洋明・久保友彦・三上哲夫(北大院農)
16:30			
16:45		<p style="text-align: center;">グループ研究集会1</p> <p style="text-align: center;">量的形質を攻略せよ! - Breeding Informatics研究 IV -</p> <p style="text-align: center;">世話人: 岩田洋佳(中央農研) 矢野健太郎(かずさDNA研)</p> <p>「QTL解析の新展開」 林武司(生物研)</p> <p>「植物におけるアソシエーション解析(レビュー)」 岩田洋佳(中央農研)</p>	

2日目 (9月23日) 午後

第4会場 (202教室)	第5会場 (301教室)	第6会場 (401教室)	9月23日
<p>◆座長 宅見薫雄 (神戸大農)</p> <p>429 スギ花粉症緩和米の導入遺伝子産物 (7Crp) の細胞内局在性 ○廣瀬咲子・高木英典・楊麗軍・高岩文雄(農業生物資源研究所)</p> <p>430 普遍的イネターゲット法の確立と展望 ○寺田理枝・定塚(久富)恵世・森藤暁・山口勝司・山内卓樹(基礎生物学研究所)</p>	<p>◆座長 宇賀優作 (農業生物資源研究所)</p> <p>529 ダイズ幼苗期耐塩性QTLの解析 ○H. Aladdin1・E. Benitez2・高橋良二2・許東河1(1. 国際農研、2. 作物研)</p> <p>530 QTL analysis of alcohol dehydrogenase (ADH) activity in soybean (<i>Glycine max</i> (L.) Merr.) under flooding stress. ○G. Rizal・築山拓司・S. Karki・奥本裕・中崎鉄也・谷坂隆俊(京大院農)</p> <p>531 イネ系統「北海PL9」の低タンパク含有率および低アミロース性に関するQTL解析 ○安東郁男1・佐藤宏之1・梅本貴之1・青木法明1・平林秀介1・黒木 慎2・清水博之2・安藤露3・竹内善信1(1. 作物研、2. 北農研、3. STAFF研)</p> <p>532 栽培ダイコンにおける根の肥大性に関するQTL解析 ○王寧1・小林喜和1・大澤良1・新倉聡2・岩田洋佳3・藤村達人1(1. 筑波大院生命環境科学、2. (株) トーホク、3. 中央農研)</p> <p>533 ダイズ種子タンパク質含量および成分を制御する遺伝的領域の同定 ○吉川貴徳1・内海成2・福田貴子2・奥本裕1・佐山貴司1・谷坂隆俊1(1. 京大院農育種学研究室、2. 京大院農品質設計開発学研究室)</p>	<p>◆座長 大村三男 (静岡大農)</p> <p>630 アブラナ科植物における花香変異の定量的評価 ○新井美耶子・小林喜和・本田洋・大澤良(筑波大院生命環境科学)</p> <p>631 ヨシにおけるカルス誘導と植物体再生 ○玉井紀子・長谷川博(滋賀県立大学 環境科学研究科)</p>	<p>15:30</p> <p>15:45</p> <p>16:00</p> <p>16:15</p> <p>16:30</p> <p>16:45</p>

講演番号・座長一覧

	第1会場 102教室	第2会場 103教室	第3会場 201教室	第4会場 202教室	第5会場 301教室	第6会場 401教室
22日午前	101-104 加藤鎌司 9:00-10:00	201-204 長谷川 博 9:00-10:00	301-304 坂 紀邦 9:00-10:00	401-404 荻原保成 9:00-10:00	501-504 半田裕一 9:00-10:00	601-604 秋本正博 9:00-10:00
	105-108 平井正志 10:00-11:00	205-208 福田善通 10:00-11:00	305-308 石井卓朗 10:00-11:00	405-408 草場 信 10:00-11:00	505-508 佐藤和広 10:00-11:00	605-608 辻本 壽 10:00-11:00
	109-112 伊藤幸博 11:00-12:00	209-212 藤井 潔 11:00-12:00	309-312 矢野健太郎 11:00-12:00	409-412 石川隆二 11:00-12:00	509-512 森川利信 11:00-12:00	609-612 矢頭 治 11:00-12:00
23日午前	113-116 長村吉晃 9:00-10:00	213-216 笹沼恒男 9:00-10:00	313-317 坪倉康隆 9:00-10:15	413-416 加藤淳太郎 9:00-10:00	513-516 北野英己 9:00-10:00	613-617 勝田真澄 9:00-10:15
	117-120 吉田 薫 10:00-11:00	217-220 西村 実 10:00-11:00	318-321 村井耕二 10:15-11:15	417-420 山田哲也 10:00-11:00	517-520 石本政男 10:00-11:00	618-621 吉田 均 10:15-11:15
23日午後	121-124 横井修司 13:30-14:30	221-224 穴井豊昭 13:30-14:30	322-325 鳥山欽哉 13:30-14:30	421-424 高岩文雄 13:30-14:30	521-524 三浦秀穂 13:30-14:30	622-625 久保友彦 13:30-14:30
	125-128 木藤新一郎 14:30-15:30	225-228 平野 久 14:30-15:30	326-329 川上直人 14:30-15:30	425-428 田部井 豊 14:30-15:30	525-528 高牟禮逸朗 14:30-15:30	626-629 西尾 剛 14:30-15:30
	129-130 久保中央 15:30-16:00	229-230 河野雄飛 15:30-16:00	330-333 土屋 亨 15:30-16:30	429-430 宅見薫雄 15:30-16:00	529-533 宇賀優作 15:30-16:45	630-631 大村三男 15:30-16:00

口頭発表講演方法

口頭発表の発表形式はコンピュータプレゼンテーションのみです。予備用の OHP の用意はありません。発表には、必ずご自分のパソコンをご使用ください。パソコンの不具合に供えるため運営委員会において予備のパソコン(Windows XP のみ、Power Point)を準備致しますので、必ずデータのバックアップを入れた USB メモリースティックをご持参下さい。また、大会当日、会場には試写室を設け試写用液晶プロジェクターを用意いたします。あらかじめ余裕を持って試写用液晶プロジェクターにて文字化け、段落の崩れ、動作などをご自身で確認してください。D-sub15 ピン（ミニ）のケーブルをご用意いたしますので、試写用液晶プロジェクターにてケーブルの接続を確認して下さい。一部のノートパソコンでは変換用のアダプタが必要な場合がありますので、必ずお持ち下さい。ノートパソコンから外部モニターや液晶プロジェクターに正しく出力されるかあらかじめ確認しておいて下さい。

注意点

1. 画面サイズ（解像度）に関しては、発表に使用する液晶プロジェクターは全て XGA（1024×768）に統一してありますので、ご使用のノートパソコンの解像度を XGA に合わせてからレイアウトの確認をしてください。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れてしまいますので、画面の設定を XGA に必ず合わせて下さい。
2. 外部画像出力コネクタが D-sub15 ピン（ミニ）であることを確認してください。違う場合は変換用のアダプタをご用意下さい。
3. ノートパソコンのスクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
4. 発表会場のモニター切り替え器には 4 本の D-sub15 ピン（ミニ）のケーブルが接続されており、A, B, C, D の記号が付いています。会場の次講演者席、次次講演者席には記号の付いたケーブルが来ていますので記号を確認の上、接続してください。
5. 会場にて電源を用意していますので、電源コードを必ずお持ちください。バッテリートラブルが生じないように次講演者席、次次講演者席近辺に電源タップを用意しておきますので、必ずご利用下さい。電源タップと演台の間は一般的なノートパソコンの電源コードで間に合うようにいたします。
6. 次講演者席、次次講演者席に着いてケーブルを接続したらノートパソコンを起動させてください。ただし、起動音は周りの迷惑になりますのであらかじめミュート（消音）にしておいてください。
7. 画像出力先を外部またはミラーリングに設定しておいてもケーブルが接続されていないと液晶モニターのみ自動的に切り替わってしまう機種があります。その場合にもあわてずに素早く対処できるように、ファンクションキー等を用いた出力先の切り替え法もご確認下さい。
8. 係員が演壇においてコンピュータに接続したケーブル端子の A, B, C, D の記号に合わせてモニター切り替え器のスイッチを切り替えます。接続端子には A, B, C, D の記号が付いておりますので係員に見えるようにしてください。切り替えがうまくいかなかった場合はコンピュータの画面出力先を確認してください。なお、トラブルの時間も講演時間にふくまれますのでご注意下さい。
9. 動画を用いられる場合、Windows XP に関して、出力先をミラーリングに設定してあると動画は液晶画面には映りませんがプロジェクタから投影されないことがあります。その際は、出力先を外部のみに切り替えてください。
10. 試写室には大会期間中常時専門スタッフがおりますので、上記の設定等について不明の点はお尋ね下さい。
11. そのほか、トラブル時用に必ずデータのバックアップを入れた USB メモリースティックも用意して下さい。

その他、ご不明の点は山形大学育種学会運営委員会 (gakkai@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp) にお問い合わせ下さい。

ポスター発表プログラム

分類群/番号

タイトル

<1. 品種育成>

P01	高でん粉で醸造適性が優れる焼酎用サツマイモ新品種「九州135号」の育成 ○片山健二・熊谷亨2・甲斐由美1・境哲文1・吉永優1・石黒浩二1・中澤芳則1(1.九州農研、2.作物研)
P02	新ダダチャマメ大粒系統の育成 ○阿部利徳・藤原優・泉館 聡(山形大農)
P03	良食味でいもの外観が優れる食用サツマイモ新品種「九州143号」の育成 ○甲斐由美1・石黒浩二1・片山健二1・境哲文1・熊谷亨2・中澤芳則1・吉永優1(1.九州沖縄農業研究センター、2.作物研究所)
P04	アカダイコンのアントシアニン高含有個体の育種研究 ○辻耕治1・田村理1・大野友道1.2・仲順子1・村上啓寿1(1.阪大薬学、2.三栄源エフ・エフ・アイ(株))
P05	オオムギの主要な糊形質を複合的に改変した準同質遺伝子系統の育成とその特性 ○吉岡藤治1・塔野岡卓司1・青木恵美子1・吉田めぐみ2・河田尚之2(1.農研機構・作物研、2.農研機構・九州沖縄農研)
P06	生物的硝化抑制作用によるコムギの窒素利用効率向上のための麦類近縁野生種オオハマニンニクの育種利用 岸井正浩1・○坂智広1.2・Subbarao V.Guntur3・辻本壽4・岩永勝1 (1.国際トウモロコシ小麦改良センター、2.横浜市立大学木原生物学研究所、3.国際農林水産業研究センター、4.鳥取大学農)
P07	穂軸褐変によるコムギ赤かび病進展抵抗性の評価 ○久保堅司・河田尚之・八田浩一・藤田雅也・小田俊介((独)農研機構・九州農研)
P08	パレイシヨ塊茎から簡易抽出したDNAに対する各病害抵抗性検定用DNAマーカーの利用 ○森一幸・田宮誠司(長崎県総合農林試験場)

<2. 育種情報>

P09	オウトウのSSR遺伝子型による果実形質の判別分析 ○高品善1・松田成美1・遠藤玲子1・大橋義孝2・山本俊哉3・西村幸一1(1.山形農総研せ農生技試、2.福島農総せ果樹研、3.農研機構果樹研)
P10	生長自動モニタリング装置を利用した日印交雑 F ₁ イネの初期生長におけるクロマチン修飾阻害の影響解析 ○土生芳樹1・七塔高也2・田口文緒1・篠村知子2(1.農業生物資源研究所、2.日立製作所中央研究所)
P11	P形フォーリエ記述子によるイネの草型解析 2.幼苗の品種反応 ○鈴木克彰1・鄭澤宇2・サルハティワキル アハマド1・ザンジャンメヘラン1・平田豊1(1.東京農工大学農学府、2.理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター)

<3. 遺伝資源・系統分化>

P12	東北地方の茶 ○池田奈実子・水野直美(野菜茶業研究所)
P13	山形県飛鳥のナンの探索と遺伝的多様性 橋美穂1・新保幸子2・林田光祐2・○片山寛則1・池谷祐幸3・山本俊哉3・植松千代美4 (1.神戸大農食資源センター、2.山形大農生物環境学科、3.農研機構果樹研、4.大阪市立大院理)
P14	ダイズの遺伝子がツルマメの適応度関連形質に及ぼす影響 II. ツルマメダイズBC1集団で検出された生産種子数および種子越冬生存率に関するQTL ○黒田洋輔1・加賀秋人1・高田吉丈2・加藤信2・矢野博3・友岡憲彦1・D. Vaughan1(1.生物研、2.東北農研センター、3.近中四農研センター)
P15	アズキと近縁野生種の戻し交雑後代における適応度関連形質の遺伝解析 ○加賀秋人・友岡憲彦・伊勢村武久・黒田洋輔・D. Vaughan(生物研)
P16	ミャンマーのカチン州、ラカイン州およびマンダレー管区における野生イネ集団の多様性解析 ○山中慎介1・宇賀優作1・G. Ahmad2・T. Oo3・W. Twa3・河瀬眞琴1(1.農業生物資源研究所、2. Genral Commission for Scientific Agricultural Research, Syria、3. ミャンマー農業研究局 シードバンク)
P17	ミャンマーに自生する野生イネ集団の遺伝的多様性評価 ○相澤義春1・藤田千絵子1・宍戸理恵子1・野村和成1・秋本正博2・石井尊生3・佐藤雅志4・T. U5・T. U5 (1.日本大生物資源、2.帯畜大、3.神戸大農、4.東北大院生命科学、5.ミャンマー農業灌漑省 農業研究部)
P18	聖護院ダイコンおよびその他のダイコン品種の遺伝的多様性 ○平井正志1.3・松本直子2・久保中央1.3・津呂正人4(1.京都府大院農、2.京都府立大学農、3.京都府農業資源研究センター、4.名城大学農)

<4. 変異創成>

P19	重イオンビーム照射によるシクラメン突然変異体の誘発 ○杉山正夫1・市田裕之2・林依子2・福西暢尚2・龍頭啓充2・寺川輝彦1・阿部知子2(1.北興化学開発研、2.理研仁科センター)
P20	一粒系コムギX線突然変異体 <i>wrapped glume</i> の遺伝分析と形態観察 ○金城博子・漆川直希・村井耕二(福井県大生物資源)
P21	イオンビーム照射によるシクラメン種間雑種 (<i>Cyclamen persicum</i> x <i>C.purpurascens</i>)の突然変異体作出 ○近藤恵美子1・長谷純宏2・田中淳2・石坂宏1(1.埼玉農総研セ、2.原子力機構)
P22	炭素イオン照射により誘導した、シワ・矮性イネ突然変異株(ssw)の特性解析 ○竹久妃奈子1・林依子1・風間裕介1・神波千秋2・市田裕之1・龍頭啓充1・福西暢尚1・宮沢豊2・東海林英夫2・佐藤雅志2・阿部知子1 (1.理研仁科センター、2.東北大院生命科学)
P23	重イオンビーム照射で作出されたタバコ白花変異体について ○風間裕介1・斎藤宏之1・宮沢豊2・金谷健至3・鈴木賢一3・林依子1・龍頭啓充1・福西暢尚1・C. Bae4・阿部知子1 (1.理研仁科センター、2.東北大院生命科学、3.サントリーフーズ、4.順天大・韓国)
P24	X-線照射によるダイズ突然変異体ライブラリーの開発 ○秀島瑠満子・佐藤奈々絵・松元美樹・池田勝志・穴井豊昭(佐賀大学農学部)
P25	イネ易変性細粒遺伝子の復帰突然変異にともなって活性化されたトランスポゾンmPingの自殖後代における転移活性の推移 ○柿窪善浩1,2・堀端章1,2(1.近畿大学生物理工学部、2.財団法人わかやま産業振興財団)
P26	笑気ガス(N ₂ O)処理を用いた花粉母細胞の染色体倍加によるコリ種間雑種の総性回復 ○北村里美1・岡崎桂一2(1.新潟大院 自然科学、2.新潟大 農)
P27	サクランボモドキ(<i>Cortusa matthioli</i>)とオオサクランボ(<i>Primula jesoana</i>)の属間雑種の形態的特徴 ○加藤淳太郎1・池田真由子2・間瀬あいこ1・石川誠3・林麻衣4・平野智也5・星野洋一郎5・西野栄正4・三位正洋4 (1.愛知教育大生物、2.名大院生命科学、3.JSTプラザ東海、4.千葉大院園芸、5.北大創成研)
P28	在来ナタネおよびカラシナ×セイヨウナタネF ₁ 植物の戻し交雑における受粉法の効果 ○菊地豊和1・池端亮人1・赤羽美智子1・津田麻衣2・田部井豊2・房相佑1・金子幸雄1・松澤康雄1(1.宇都宮大農、2.生物研)
P29	イネ変異型アセト乳酸合成酵素遺伝子を選抜マーカー遺伝子として用いた効率的なコムギの形質転換 ○小川泰一・土岐精一・川東広幸・半田裕一(農業生物資源研)
P30	講演取り消し
P31	アグロバクテリウム混合感染による選抜マーカーフリーなプロラミン低減イネの作出 ○黒田昌治(中央農研北陸研究センター)
P32	FT遺伝子導入によるin vitro開花トルコギキョウの作出 ○五十鈴川寛司1,2・齋藤久美1・西村幸一1(1.山形農総研七生生産技試、2.山形県庁)
P33	PalSelect(クマイイ化学)を用いたイネ品種「おぼろづき」の遺伝子導入効率と複数種類のオリゴ糖合成系遺伝子導入個体の発現解析 ○小沢憲二郎・村山誠治・下坂悦生・吉田みどり・佐藤裕(北海道農業研究センター)
P34	マメ科植物におけるWUS遺伝子のクローニングと育種学的応用 ○赤田辰治1・上西園常文2・大志田百2(1.弘大遺伝子、2.弘大農学生命科学)
P35	組換え型CEL1エンドヌクレアーゼの発現 ○今井奈保子・秀島瑠満子・穴井豊昭(佐賀大学農学部)
P36	RNAi法によるアサガオのアントシアニン合成酵素遺伝子の発現抑制 ○鈴木智子1・山田哲也1・清水圭一2・市村一雄3・金勝一樹1(1.農工大・農、2.鹿児島大・農、3.農研機構花き研)

<5. 変異解析>

P37	イネのインド型品種密陽23号と日本型品種アキヒカリ雑種後代に生じる雑種弱勢に関わる第2染色体上の遺伝子座 ○川崎顕子・小仁所邦彦・福田善通(国際農林水産業研究センター)
P38	ダイアレル分析によるナタネ本葉からの不定芽形成能の遺伝解析 ○ケネディ(赤坂)庸子1,2・横井修司1・高畑義人1(1.岩手大農、2.(株)コンボン研究所)
P39	イネ品種JamaicaとIR36との間の交雑F ₂ に見られた雑種弱勢現象の遺伝子分析 ○一谷勝之1・田浦悟2・佐藤宗治1(1.鹿児島大農、2.鹿児島大遺伝子実験施設)
P40	ダイズ子実中のサポニン含量に関するQTL解析 ○高田吉文1・J. Ziyan2・塚本知玄2・河野雄飛1・加藤信1・湯本節三1(1.東北農研、2.岩手大院農)
P41	多収イネ、ハバタキの種の先端部着粒構造に関わるQTLの検出 ○池田真由子1・林少揚2・高師知紀2・坂本知昭3・芦苅基行4・松岡信4・北野英己4 (1.名大院生命科学、2.HRI-JP、3.名大高等研究院、4.名大生物機能開発利用研究センター)
P42	日本晴と酒米品種兵庫白錦との組換え近交系集団を用いた玄米形質に関するQTL解析 ○山口万里子1・戸出敦子1・吉田晋弥2・池上勝2・石井尊生1・上島脩志1(1.神戸大院農学、2.兵庫県立農林水産技術総合センター)
P43	ネギの初期生育に関するQTLの遺伝効果 ○塚崎光・山下謙一郎・小島昭夫・若生忠幸(農研機構野菜茶研)
P44	水稲耐冷性育種母本北海PL5と北海241号及びササニシキとのF2植物において低温条件下での稔実性に影響を及ぼす遺伝子座の解析 ○加藤明(北農研)
P45	<i>Brassica oleracea</i> における脂肪酸グルコシノレート(GSL)含量のQTL解析 M. Doullah1・○長岡朝彦1・六角啓一2・坂本浩二2・斎藤敦夫2・松本哲3・清宮聡子4・矢作美輪子4・岡崎桂一4 (1.新潟大院自然科学、2.タキイ種苗(株)、3.野茶研、4.新潟大農)
P46	Genotype Matrix Mapping (GMM): QTLおよびQTL間の相互作用を検出する新たな解析法の開発 ○磯部祥子1・中谷明弘2・奥村健治3・矢野昌裕4・久野裕1・田畑哲之1(1.かずさDNA研究所、2.東京大学情報生命科学、3.北海道農業研究センター、4.農業生物資源研)

<6. 抵抗性・品質成分>

P47	熱ショック蛋白質遺伝子 <i>sHSP17.7</i> の過剰発現によるイネの耐乾性の向上。II.PEG溶液処理後の生存率 ○佐藤裕・横谷砂貴子(農研機構北海道農研センター)
P48	イネ穂ばらみ期耐冷性遺伝子座候補領域に存在するフラボノール合成酵素様遺伝子 ○斎藤浩二・黒木慎・早野由里子・佐藤裕(北海道農研)
P49	陸稲黒禾が保有するいもち病圃場抵抗性に関するQTL解析 ○佐藤宏之・竹内善信・平林秀介・石井卓朗・根本博・井辺時雄1,2・安東都男1(1.作物研究所、2.国際農研セ 熱帯・島嶼研究拠点)
P50	アルカリ塩耐性極強野生植物(<i>Puccinellia tenuiflora</i>)のplasma membrane protein 3 (PMP3)の単離と解析 ○張常青・高野哲夫(東大アジアセンター)
P51	アルカリ性塩耐性極強野生植物 <i>Puccinellia tenuiflora</i> からのK ⁺ transporter (PutHKT1)の単離と解析 ○S. Ardiet・解麗娜1・高橋竜一・阿部奈津希1・柳参奎2・高野哲夫1(1.東大アジアセンター、2.中国東北林業大学)
P52	メロン幼植物体への水ストレス処理によるβアミラーゼ活性の誘導 ○小島拓磨・正木俊平・山田哲也・金勝一樹(農工大・農)
P53	高耐塩性 <i>Zoysia</i> 属系統における塩類腺の塩排出能 ○松田靖・古富史朗・満井人知・芦矢尚之・村田達郎(九州東海大学農)
P54	耐塩性野生植物 <i>Puccinellia tenuiflora</i> および <i>Chloris virgata</i> の細胞膜型H ⁺ -ATPase遺伝子の単離と解析 ○張欣欣1・柳参奎1,2・高野哲夫1(1.東大アジアセンター、2.中国東北林業大学)
P55	ダイズの褐斑抵抗性の遺伝解析 ○猿田正恭・菊池彰夫・岡部昭典(近中四農研)
P56	コムギの遺伝子型とタンパク質含量がホリマータンパク質の量及びサイズ分布に及ぼす影響 ○谷中美貴子・高田兼則・池田達哉・石川直幸(近中四農研)
P57	紫サツマイモアントシアニン抽出液の耐光性の品種間差異 ○高畑康浩1・外山潤2・田中勝1・中山博貴1・吉永優1(1.九州沖縄農業研究センター、2.現・JSTイノベーションサテライト宮崎)
P58	β-グルカン欠失オオムギ準同質遺伝子系統の胚乳細胞壁構造 ○塔野岡卓司・青木恵美子・吉岡藤治(農研機構作物研究所)
P59	オオムギにおける穀粒の硬軟質性関連因子ホルドインドリンの変異を同定するDNAマーカーの開発 ○高橋飛鳥・池田達哉・高山敏之・柳澤貴司(近中四農研)
P60	ソバ茎葉の部位別におけるアントシアニン組成の違い ○江口研太郎・松井勝弘・沖智之・佐藤哲生(農研機構)
P61	高カルコンシアタバの育種 ○南晴文1・谷口雅彦2・芝野真喜雄2・馬場きみ江2・白井靖子3・大澤良3(1.東京島しょ農水セ、2.大阪薬大、3.筑波大院生命環境科学)
P62	ゴマ遺伝資源における種子成分の品種間変異と年次変動 ○勝田真澄1・佐藤哲生2(1.農研機構作物研究所、2.農研機構九州沖縄農研センター)
P63	ダイコン遺伝資源のスプラウト中に含まれるグルコシレート含量の品種間差異 ○石田正彦1・小堀純奈1・六角啓一2・吉秋齋1・畠山勝徳1・森光康次郎3(1.野菜茶業研究所野菜育種研究チーム、2.タキイ種苗研究農場、3.お茶大生活科学部)
P64	DMACAを用いた裸麦系統のプロアントシアニン含量の測定 ○柳澤貴司・高山敏之・高橋飛鳥(近畿中国四国農業研究センター)
P65	韓国的大豆遺伝資源におけるカロテノイドならびにルテイン含量の品種・系統間差 李Jun-Soo1・金Hong-Sig2・O.S. Jong2・禹仙熙2(1.韓国 忠北大学校、2.韓国 忠北大学校)
P66	韓国的大豆遺伝資源におけるトコフェロール含量の品種・系統間差 李Jun-Soo1・金Hong-Sig2・S. Jong2・平賀勤3・禹仙熙2(1.韓国 忠北大学校、2.韓国 忠北大学校、3.作物研究所)

<7. 発育生理>

P67	イネ発芽種子中で変動するRNA結合タンパク質の解析 ○正木俊平・山田哲也・金勝一樹(農工大・農)
P68	BT型細胞質雄性不稔イネの花粉発達に関与する核遺伝子の発現解析 ○板橋悦子1・藤田雅丈2・倉田のり2・鳥山欽哉1(1.東北大院農、2.国立遺伝学研究所)

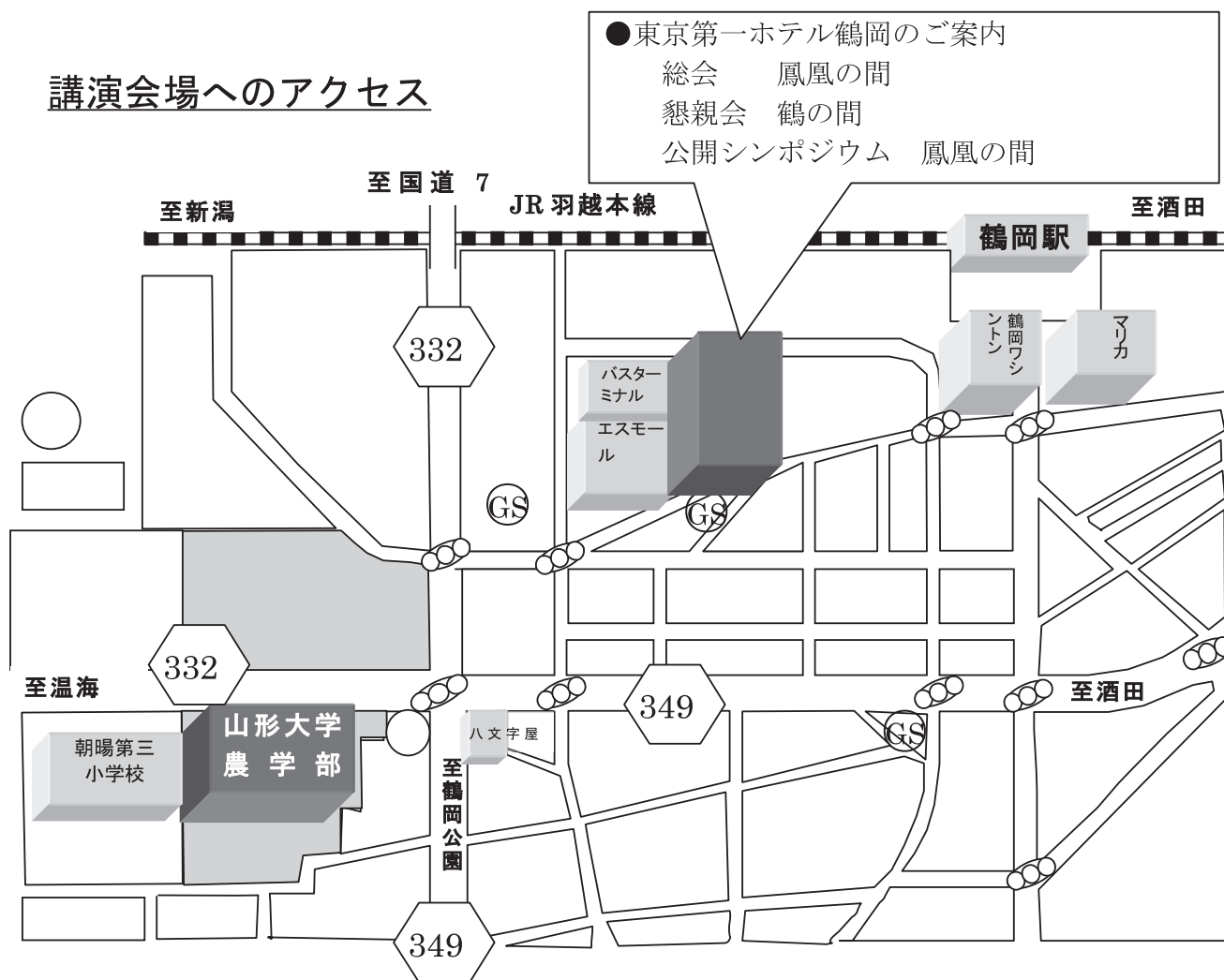
<9. ゲノム解析>

P69	並列DNA配列解析装置によるオオムギBACクローン配列大量解析法の開発 ○佐藤和広・元井由加・南角奈美・武田和義(岡山大資生研)
P70	マイクロサテライトマーカーを利用したイネの香り遺伝子のマッピング ○諸泉晶・多田雄一(東京工科大院・バイオ情報メディア)
P71	イチジクの雌雄識別に関連したDNAマーカーの開発 ○野方仁・粟村光男(福岡農総試豊前分場)
P72	小麦加工食品の原料品種判別法の開発 II. SSRマーカーを用いた小麦品種判別 ○藤田由美子1・福岡浩之2・矢野博1(1.近中四農研、2.野菜茶業研)
P73	Dot-blot-SNP法の低コスト化と日本型水稻品種判別用SNPマーカーの作出 ○汐海沙知子1・前田寛明1・佐藤豊2・白澤健太3・西尾剛1(1.東北大院農学、2.東大農学生命科学、3.作物研)
P74	オヒルギ遺伝子のFOX HuntingのためのcDNA発現用ライブラリーの構築 ○江澤祥太・多田雄一(東京工科大院・バイオ情報メディア)

<10. 遺伝子・蛋白質>

P75	相補性試験によるイネ綿葉枯病抵抗性遺伝子 <i>Stvb</i> -候補の特定 ○早野由里子・斎藤浩二(北海道農研)
P76	コムギDBF1ホモログの単離とタルホコムギの乾燥ストレス耐性との関係 ○寺嶋彰弘・宅見薫雄(神戸大院農学研究科)
P77	イネstay green 突然変異体 <i>nyc1</i> と <i>nol</i> の解析 ○佐藤豊1・森田竜平2・西村実2・草場信1(1.東大農学生命科学、2.生物研放育場)
P78	ダッチアイリスにおけるカルコン合成酵素cDNAクローンの単離と解析 濱砂紳也1・○松尾勇一朗1・吉原法子2・水谷正子3・田中良和3・藪谷勤1(1.宮崎大農、2.鹿児島連大、3.サントリー研究センター)
P79	ギニアグラスにおけるアポスポリー性アポミクシス特異的遺伝子群の単離とその機能解析:アポミクシス1優性遺伝子支配説を支持する証拠? ○陳蘭社1・関黎明2・宮崎力3・小島昭夫4・斎藤彰3(1.南九州大園芸、2.宮崎大、3.九州沖縄農セン、4.野菜・茶業研)
P80	トランスポゾン様遺伝子 <i>Revolver</i> の量的・質的変動解析に向けて ○富田因則・奥谷飛(鳥取大農)
P81	イネ属における脱粒性遺伝子 <i>Sh4</i> 領域の塩基配列の多様性について ○伊藤友子・山根弘子・小林春美・吉原里枝・藤塚奈穂子・伊藤幸代・小西左江子・井澤毅・伊川浩司・並木信和・金森裕之・呉健忠・佐々木卓治・松本隆(生物研/STAFFイネゲノム研究チーム)
P82	イネ属における収量関連遺伝子 <i>Gn1a</i> 領域の塩基配列の比較解析 ○山根弘子・小林春美・伊藤友子・吉原里枝・藤塚奈穂子・伊藤幸代・金森裕之・伊川浩司・呉健忠・佐々木卓治・松本隆(生物研/STAFFイネゲノム研究チーム)
P83	<i>Brassica rapa</i> における器官特異的DNAメチル化の解析 ○佐々木卓1・藤本龍1・岸谷幸枝2・西尾剛2(1.遺伝研、2.東北大院農)
P84	ダッチアイリスにおけるアントシアニン生合成酵素遺伝子の発現解析 ○吉原法子1・水谷正子2・田中良和2・藪谷勤3(1.鹿児島連大、2.サントリー研究センター、3.宮崎大農)
P85	ダイコンの低温下における発芽にともなう遺伝子の発現解析 恩井美由希・榎沢絵美子・穴戸理恵子・○野村和成(日本大生物資源)
P86	トランスジェニック植物におけるヤーコン由来のSucrose : Sucrose 1-Fructosyltransferases(<i>1-SS7</i>)遺伝子の発現 ○潘衛鋒1,2・谷口美香2・玉掛秀人3・安西弘行2(1.農工大・院・連大・生物工学、2.茨城大・遺伝子、3.道立中央農試)
P87	ダイズレグインスリン結合タンパク質遺伝子の発現解析 桑原裕尚・荒川憲昭・川崎博史・○平野久(横浜市立大学大学院国際総合科学研究科)
P88	イネの緑色組織特異的プロモーター0082の発現特性 ○大槻寛1・大島正弘2・矢頭治1(1.農研機構中央農業総合研究センター北陸研究センター、2.農研機構作物研究所)
P89	オオムギの葉におけるP23kのVIGSは二次壁形成に関連した形態異常を示す ○及川愛・植村亜衣子・木藤新一郎(岩大農)
P90	オオムギタンパク質P23kの細胞内局在 ○植村亜衣子・及川愛・木藤新一郎(岩大農)
P91	ビール中タンパク質のプロテオーム解析とその大麦品種間差異 ○飯牟礼隆1・南角奈美2・廣田直彦1・周天銓1・木原誠1・伊藤一敏1・林勝弘1・武田和義2・佐藤和広2(1.サッポロビールバイオ研、2.岡山大学資生研)

講演会場へのアクセス



山形大学農学部 鶴岡キャンパスまでの交通案内

【JR 鶴岡駅から】

徒歩 15 分、タクシー 5 分

【庄内空港から】 <http://www.net.sfsi.co.jp/shoko/> http://www.net.sfsi.co.jp/shoko-travel/course/form_taxi.htm

路線バスで「鶴岡」行きに乗車し、「東京第一ホテル鶴岡 前」(終点)下車 (740 円)、徒歩 10 分
 タクシーで約 20 分 (約 4,000 円)

【仙台方面から】 http://www.net.sfsi.co.jp/shoko/highway/tokyo_index.html

仙台駅前 (広瀬通) から鶴岡・酒田行き高速バス (予約制) で「鶴岡エスマール」下車 徒歩 10 分
 一部「鶴岡エスマール」に停車しないバス便もありますので、乗車前にご確認ください。

【山形方面から】 http://www.net.sfsi.co.jp/shoko/highway/tokyo_index.html

山形駅前から鶴岡・酒田行き高速バス (予約なし) で「鶴岡エスマール」下車 徒歩 10 分

鶴岡駅または庄内空港までの交通案内

【東京方面から】

JR 東京駅より上越新幹線 (新潟駅乗換え)・羽越線特急「いなほ」号にて鶴岡駅下車 約 4 時間

羽田空港より庄内空港 ANA 4 便運行 約 1 時間

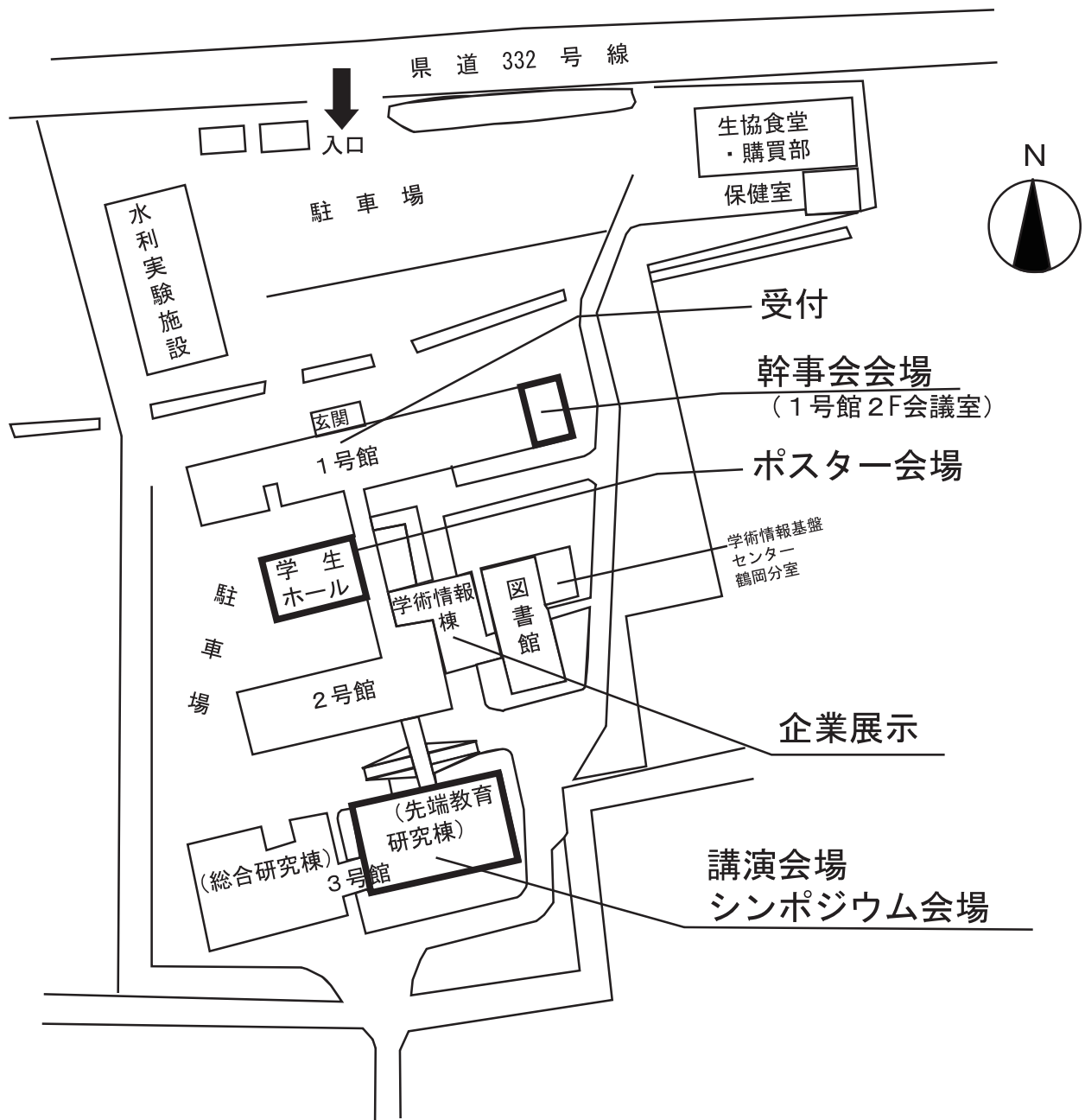
【大阪方面から】

JR 新大阪駅より東海道新幹線・上越新幹線・羽越線 鶴岡駅下車 約 6 時間

伊丹空港より羽田空港経由庄内空港行き 3 時間

伊丹空港より庄内空港直行便 約 1 時間 20 分

講演会場案内図（鶴岡キャンパス）



なお、臨時総会会場、懇親会場、
公開シンポジウム会場は
東京第一ホテル鶴岡
（「講演会場へのアクセス」参照）
です。

講演会場（3号館）見取り図

